

警察庁によると、令和2年中の行方不明者届出受理数は7万7022人で、前年比で9911人減少し、過去最少でした。このうち、認知症行方不明者は、平成24年以降年々増加しており、1万7565人で、前年から86人増加しています。

認知症行方不明者は、発見が遅れると、夏であれば熱中症、冬であれば低体温症などのリスクが高くなり、交通事故に巻き込まれる、水難事故

## 認知症行方不明者をなくそう

に遭うなど生命の危険もあります。早期に発見して保護することが大切です。

自治体、警察、地域が連携して高齢者への見守り活動を行い、行方不明情報の発信に際しては、素早く対応するなど、

官民一体での取り組みが重要です。徘徊している高齢者を見かけたら、優しい言葉で声をかけ、すぐに関係機関に通報しましょう。

防犯一口メモ